



# 六中だより

米沢市立第六中学校

第 2 号

平成31年4月10日

## 決意をもって

入学式に引き続き徒会入会式が行われました。

生徒会長 後藤寧太さん

暖かい春の風に包まれて、桜のつぼみもゆっくりとふくらみ始めました。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんをこの六中の一員として迎え、共に学校生活を過ごせることをとてもうれしく思います。今日から中学校生活をスタートした新入生のみなさんの胸の中は、期待や緊張感でいっぱいなのではないでしょうか。



みなさんがこれから学校生活を送るこの六中は、素晴らしい伝統のある学校です。自分たちで協力、団結してつくりあげる体育祭や文化祭、そして、クラスごと一生懸命練習してきた成果を出し合っ、心を込めて歌う

合唱コンクール。また、各行事で力強い音色を奏でる鬼面太鼓や全校で声を合わせて歌う「大地讃頌」。これらの感動的な経験は、きっとみなさんの心に残り、忘れられない思い出になるでしょう。

中学校生活では、このような行事とともに、生徒会執行部を中心に、毎日の生活や学習にも力を入れようと様々な活動を行っています。昨年度は、全員参加の「あいさつ運動」、お互いの良さを見つけ、伝え合う「六中デー」、集中して授業を行うための「学習向上週間」などを行いました。

中学校生活は、挑戦し、努力し続けることが大切です。初めは辛いと感じたことも、楽しいこと、やりがいのあることに姿を変えて、みなさんの力になっていきます。新入生のみなさん、悩んだり、困ったりしたときは、僕たち2、3年生が全力でサポートします。きっと、みなさんの力になれると思いますので、遠慮なく話しかけてください。

太鼓委員会代表の金子友哉くん  
を中心とした鬼面太鼓の披露



この六中を今まで以上に素晴らしい学校にすることは簡単なことではありません、しかし、新入生のみなさんと力を合わせれば、必ずより良い学校にすることができると思います。これから、笑い合い、励まし合い、協力し合いながら素晴らしい六中を築いていきましょう。



左：木村琉南さんの指揮と我妻碧凧海さんの伴奏による在校生合唱「虹色の未来」  
右：応援団長坂野滯士くんを中心とした応援の披露

### 生徒会入会式1年代表挨拶1年1組 坂野雅姫さん

本日は私たち新入生のために、生徒会入会式を開いてくださり、本当にありがとうございます。私たちは今日から、米沢市立第六中学校の一員になります。先輩方から学び、仲間と力を合わせて、充実した学校生活を送りたいと思います。

中学校からは学習する教科が増え、部活動も始まり、今までよりも大変なことも多くなるかと思えます。しかし、何事にも積極的に挑戦していく気持ちを持ちたいです。

私が中学校で頑張りたいことは、部活動です。私は小学校時代に三年間バレーボールをしてきました。そのため、中学校でもバレーボール部に入りたいと考えています。昨年度の部活動見学会では、バレーボール部の見学をさせていただきました。先輩方がサーブを打っている姿がとてもカッコよかったのを今でも覚えています。先輩方のように強くてカッコいいプレーができるように、これからたくさん練習をしたいと思います。

私の目標は中体連大会で優勝することです。みんなで協力して一日一日の練習を大切にしていきたいと思っています。

また、中学校では委員会活動も頑張りたいと考えています。私は小学校のころ、委員長として、本の整理や放送を積極的にしてきました。この経験をいかして、中学校で文化委員会に入り、わからないことがあったら先輩方に聞いて、本をたくさん読む六中にしていきたいです。

最後に、六中では「あいさつ運動」に力を入れているとお聞きました。あいさつはするほうも清々しくよい気持ちになります。以前、六郷小学校にもあいさつをしにきてくださいました。六中の取り組みは本当に素晴らしいと思います。気持ちのよいあいさつが響く学校にできるよう、自分からあいさつをしていきます。友達だけでなく先生方や先輩方にもあいさつをしていきたいと思っています。三年間よろしくお祈りします。

六中には温かい空気が流れています。この温かさを大切にしていきたいと思っています。

